



⑦事前合宿中、「静波サーフスタジアム」でトレーニングするカリッサ・ムーア選手



2021年を振り返って

2021（令和3）年は、前年から全国にまん延し続ける新型コロナウイルス感染症の感染拡大が人々の行動制限をもたらし、8月には第5波による「緊急事態宣言」が再発令されるなど、先行きの見えない不安を抱く1年となりました。市では感染拡大防止に向け、迅速なワクチン接種を進めるとともに、社会経済活動の推進についても、アフターコロナを見据え、さまざまな取り組みを展開しました。

1月～3月

①成人式 新型コロナウイルス感染症拡大防止策として初のオンライン生配信
式典をオンライン配信したほか、市内4カ所にフォトスポットを設置しました。
②ストップ！地球温暖化。「ゼロカーボンシティ」を宣言
2050年までに二酸化炭素の実質排出量ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言。地球温暖化を止めるため、市民の皆さまとともに省エネなどを推進します。

4月～6月

③人と本が交わる場。市立図書館「いこっと」がオープン
ミルキーウェイスクエア（波津区）内に、市立図書館「いこっと」がオープン。誰もが気軽に使える交流・憩いの場が完成しました。
④「令和3年5月1日牧之原市竜巻等災害」発生
布引原地区、勝間田地区、坂部地区、須々木地区の4カ所を突風が襲い、3人がけがをしたほか、住家や農業用施設などに甚大な被害が発生。これを受け、全国から「災害義援金」として多くの温かい支援が寄せられました。

7月～9月

●市内海水浴場2年ぶり開設
期間の短縮や入場制限など、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、静波海水浴場、さがらサンビーチの市内2つの海水浴場を開設。約8万5千人の入込客がありました。
⑧日本初のサーフィン競技用人工造波施設「静波サーフスタジアム」営業開始
約100種類の波を作り出し、初心者から上級者までが波に乗ることができるウェーブプール。市の重要施策である「沿岸部活性化」の起爆剤として期待されています。
⑨金メダルおめでとう！東京2020オリンピックUS Aサーフィン事前合宿
USAサーフィンチームが4泊5日の日程で2020東京五輪サーフィン競技の事前合宿を市内で行いました。カリッサ・ムーア選手は、本番でもスケールの大きなライディングで得点を伸ばし、見事金メダルを獲得しました。

10月～12月

●新型コロナウイルス感染症拡大が続き、第5波による「緊急事態宣言」発出
8月20日から9月30日の間、静岡県を含む19都道府県に「緊急事態宣言」が发出され、感染防止対策としてイベントの中止・延期や公共施設の閉館時間短縮などが行われ、市民生活に多大な影響を及ぼしました。
⑩市政を担う顔ぶれが決定！
牧之原市長、牧之原市議会議員選挙
任期満了に伴う牧之原市長・牧之原市議会議員選挙が行われ、市長選挙は現職の杉本基久雄氏が無投票で再選。市議会議員選挙は、投票の結果、16人の市議会議員が決定しました。

いご支援をいただきました。また、静岡牧之原茶親善大使の橋幸夫さんがいち早く激励のメッセージをくださるとともに、全国各地のコンサート会場で募金活動「茶太郎募金」を実施。さらに、募金の返礼品として、被災した農家が生産したお茶を使用した「ちやつきり茶太郎茶」を配付し、静岡牧之原茶のPRにつなげていただきました。
⑤新型コロナウイルスの接種開始
高齢者から順次、新型コロナウイルスワクチン接種を開始。市内医療機関での個別接種と静波体育館などでの集団接種を効率よく進めた結果、11月上旬までに、接種を希望する人のうち約80%の接種を完了することができました。接種率は、県内上位となっています。
⑥「改革の精神を継承」田沼意次侯の銅像が完成
郷土を代表する偉人で稀代の政治家「田沼意次侯」の銅像が完成しました。この銅像建立には、市内外の皆さまから募金などによる多くの支援をいただき、凛々しい姿のお披露目となりました。
⑦たくさんの笑顔あふれた聖火リレー
東京2020オリンピック聖火リレーが市内で開催され、